

今回から会員紹介コーナーを作りました。これから多種多彩な会員の皆様をご紹介していきます。お楽しみに。

会員からのメッセージ from 相京 康さん

Message from Members

今年もマイタケ採ったぞ!!



今年の10月15日、会員の翠田さんと市原市民の森方面へキノコ採りへ出かけた。途中、以前私がマイタケを採った所へ寄ってみた。なんと今年もあるではないか。

この場所での最初の採集は実に6年前にさかのほる。千葉菌類談話会主催の市原市民の森での採集会の帰りに会員女性2名と千葉駅に帰る途中見つけたのが最初だった。

その後、次の年、また次の年と確認を行ったが無かった。3年目には90%はあきらめては行ってみたら何と有るではないか。キノコの本によると菌の力のないマイタケは3年毎に発生すると言う事は正に本当であった。またその後の3年目の出会いが今年であった。つまり私はこの場所で3年毎に3回マイタケに巡り会っていることになる。また次回は平成15年の10月が楽しみである。

採ったマイタケは翠田さんと仲良く分けて天ぷらで食べた。やはりスーパーでの物とは違って自然の香りが凄くすばらしかったのは言うまでもない。マイタケの横幅は45センチ程もあった。



相京さん発見のマイタケ 撮影/翠田氏

From 編集部

千葉の談話会の会が発足したのは1991年(平成3年)です。聞くところによると、この年に相京さんが現在事務局のある博物館に来館され、是非、会の活動として採集会などをやりましょう、支援はいたします、と声をかけてくださったのだそうです。会で毎年観察会をおこなうようになったのは、相京さんのひと押しがあったからだ、というのが真相だったんですね。エ～？！、ふ～ん、そ～なんだ。

前号の16・17号には、千葉のきのこ歳時記を書いて頂き、いつ頃何が千葉で採れているのかがよくわかり会員の方々から非常に好評です。(会の歴史を振り返ると、1991年6月に会報第1号が出て、1991年7月28日最初の観察会、同年9月28日本郷先生を迎えての風土記の丘で第2回観察会、翌29日は博物館で本郷の講座でした。)

inocolumn

キノコラム

ここ一年来念願だったハタケシメジの栽培ものを船橋西武デパートの食品売場で見つけました。ワンパック198円という手頃な値段だったので、喜んで2パックを買い込み、食べてみました。開けてみると、色はネズミ色がかったり、天然の幼菌の姿によく似ています。全体に大型ですらりとしており、いわゆるダイコク型でなく足の太長いことが印象的です。3~4本の株立ち状で、一本の傘が3cmに対して足の長さが5~6cm程、太さは2cm程あります。またなぜか根元にかわいい透明のキャップを履いておりま

ハタケシメジのこと

須賀 良行

した。成菌のぬるりとした味わいはないものの、幼菌のなめらかさを備えており、まあまあの味わいではないかと思います。また200円程度でのボリーウムと砂についていいきれいなキノコが手に入るとすれば、天然物にはない特徴です。将来は、成菌の栽培ものが出来ることも期待したいとは思いますが、是非みなさんも見つけて食べてみて下さい。残念なことにあまりに食べることに気持ちが入っていたせいか、写真に撮っておくことを忘れてしまい、姿をお見せできないことを残念に思います。